

放送大学 北海道同窓会会報

第 30 号

発行 放送大学北海道同窓会

発行責任者 沖野 茂夫

編集 広報担当

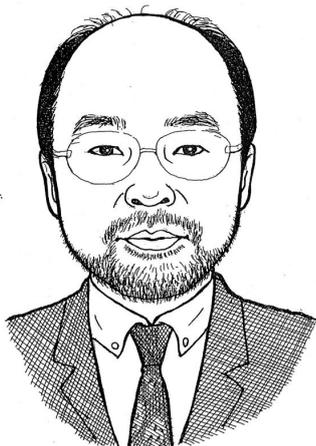
発行日平成 29(2017)年 7 月 12 日(水)

URL: <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

会員数 216 名 (2017 年 6 月 30 日現在)

「所長就任のご挨拶」

北海道学習センター所長 新田 孝彦



この 4 月に北海道学習センター所長に就任しました。専門は、18 世紀ドイツの哲学者カントの研究を中心とした哲学・倫理学です。1977 年 11 月に北海道大学助手に採用されて以来、40 年近く教員生活を送ってきましたが、講師の時代は愛知県立大学で過ごしました。

さて、放送大学には、意欲のある方ならば「誰でも、いつでも、どこでも」学ぶことができるという、通学制の大学にはない特色があります。実際、放送大学は、入学者に関して、(1) 生涯学習機関として広く社会人に大学教育の機会を提供することと、

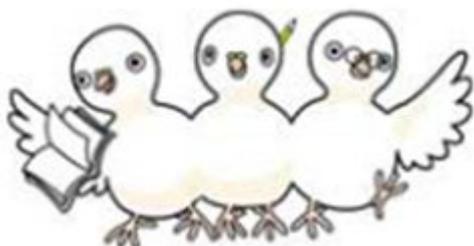
(2) 新しい高等教育システムとして高等学校卒業者に柔軟で流動的な大学進学の手続きを提供することという二つの異なったミッションを定めていますが、これに応じて、放送大学で学ぶ方々の目的や関心、職業や年齢もきわめて多彩です。履修の仕方の自由度が高いからこその多様性でしょう。

しかしながら、「誰でも、いつでも、どこでも」は「みんなバラバラ」になりがちなのも事実です。面接授業以外には机を並べて学ぶ機会はありません。その面接授業にしても、そもそもクラスという概念がないので、クラス単位で行われるわけではありません。当然クラスメートもいませんし、クラス会もありません。仕事を持っている方がサークル活動に参加するのも難しいでしょう。「自宅がキャンパス」ということは、大学固有のキャンパスがないということです。つまり、放送大学においては「同じ釜の飯を食う」ことから生まれる同期意識を期待することはできません。

とは言え、希望はあります。放送大学で教えたことのある多くの先生方が異口同音におっしゃるのは、学生の「学びに対する高い意欲や熱意」と、「困難や挫折を乗り越える気概」です。ここに放送大学生の最大公約数を求めることができそうです。大学で学ぶ目的、取得した資格、選択したコースなどはそれぞれ違っているとしても、「ひとりではがんばった」という体験ならばすべての卒業生が共有できるでしょう。この体験を結節点とした同窓生の結びつきは、放送大学の宝になります。

大学に対する社会の評価は、おおむね卒業生に対する評価によって決まります。多くの方は、卒業後に就職するという一般的な大学卒業者とは違った道を歩むことになりませんが、

社会生活を送ることに変わりはありません。それぞれの場において、それぞれの仕方で、放送大学で学んだことを生かし、さらに放送大学で学ぶことの意義を周りの方々に喧伝して下さるならば、これほどうれしいことはありません。広い地域をカバーする北海道同窓会の活動にはさまざまな制約がありますが、学業においてと同様に、この困難を乗り越えつつ、多くの卒業生が参加する同窓会に育ってゆくことを期待いたします。



「新たなスタートにあたって」

放送大学北海道同窓会
会長 沖野茂夫



5月20日に開催された放送大学北海道同窓会定期総会におきまして、会長に選任されました。エネルギーでいつも明るい笑顔で、会員の皆さん信頼の厚かった宮崎前会長の後任をお引き受けすることは戸惑いもありますが、関係者の方々のご協力をいただきながら課題に取り組みたいと考えています。

4月1日に北海道学習センターの新所長に北海道大学名誉教授の新田孝彦先生が就任されましたが、おりしも当日は「第14回放送大学件研究発表会」が開催され、さっそく主催者としてのご挨拶をいただきました。その後も同窓会の活動に貴重なアドバイスを頂戴しており、これまた新

たに選任されました高桑晶子会長の学友会などの学生サークルとも連携をして、三位一体となった活動をめざしたいと思います。

宮崎前会長とともに会長の初めての仕事として、5月27日と28日の両日に放送大学同窓会連合会の「平成29年度—20回通常総会」に出席してきました。会場は大学本部図書館3階の大会議室で、私事で恐縮ですがここは私が大学院入学時にオリエンテーションを受けた場所で、その近くには入学試験の口頭試問を受けた部屋もあり、当時の緊張した気持ちを思い出しました。

通常総会の終了後、全国8ブロックの代表からの現況報告があり、これに対して來生新学長をはじめとする大学執行部からの意見が出されました。このなかで生学長はこれから放送大学が目指すいくつかの方針について触れ、その一つとして教養教育の拡充に言及さ

れました。

中世ヨーロッパでの大学創設の発端は、法学・医学・神学などのプロフェッショナルな知識の習得・普及にありましたが、放送大学ではそれとは対置する非専門的分野、つまり人間性を高めるための伝統的教養教育などの拡充にも取り組みたい旨の発言をされました。

これも私事になりますが、私は人文系の分野に興味があつて放送大学にお世話になりましたが、当時は科目選択をする段階では人文科学系の科目だけでは修了に必要な単位数に達しなかった記憶があります。もし学部でも大学院でも Human Science に関わるプログラムが拡充されれば、また学生に戻りたい気持ちでいます。

最後になりますが、現在北海道同窓会の活動は全国的に見てもかなり活発に行われていると考えておりますが、そのぶん一部幹事の過度の負担に支えられているともいえます。

同窓会の活動は何よりも楽しくなければなりません。もし少し時間的な余裕があるときは、会報の発送作業など手伝うことができるという方がいらっしゃれば、ご連絡をいただきたいと思います。そんな作業をするなかで知識や情報の交換ができれば、より楽しい同窓会になるのではとの思いをもっています。



「同窓会会長を終えて」

放送大学
北海道同窓会前会長 宮崎新吾



いつも放送大学北海道同窓会の活動にご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。この度、同窓会会長を退任させていただくこととなりましたので、ひとことご挨拶をさせていただきます。

過日、北海道学習センターで行われました放送大学北海道同窓会定期総会において、会長の改選が決議されました。在任中は、同窓会役員はじめ、同窓会会員、学習センター、学友会・学生サークルなど多くの皆様方から多大なご協力をいただき、何とかやってこられたというのが、正直な感想であります。2年間という短い期間ではありましたが、自身成長にもとても役立ったと大変感謝しております。どうもありがとうございました。

また、新会長の沖野さんは、とても素晴らしい方なので、微力ながら私も副会長として、沖野会長を全力でサポートしていく所存です。

在任中の所感としましては、同窓会役員として活動するという事は、単位認定試験こそありませんが、まさに「学び」であると感じたことです。この学びを通して自身が成長させていただいていることを実感させていただきました。そして「学び」の中での最大の収穫は、「感謝」であります。ともに同窓会活動でご尽力いただいている役員やサポータ

一の皆さんに対する「感謝」。また、大変お忙しい中、放送大学の教職員や事務方の皆さんのご協力に対する「感謝」。それだけではなく、役員やサポーターのご家族、職場の同僚や多くの関係者の皆様に、大変お世話になりながら同窓会活動をさせていただいているんだという「感謝」。このような「感謝」を実感させていただくことができたことに対する「感謝」が自身としての最大の収穫であります。

話は変わりますが、同窓会では役員を募集しております。放送大学を卒業することによって得ることのできた素晴らしい知見を、ぜひとも後輩たちへのフィードバックしていただきたいと思いますと考えております。このことは、放送大学を卒業し学位を取得したというだけでなく、地域、家庭、職場といった皆様の身近なフィールドで力を発揮していただくのももちろんですが、同窓会として後輩への支援も、放送大学卒業生の「誇り」であり「学び」なのではないかと考えております。そして、それぞれのお立場で、お一人おひとりのライフスタイルに合わせて同窓会活動に生かしていただきたいと思います願っております。この小さな積み重ねが、放送大学の名をさら高めることにつながり、そのようなすばらしい大学を卒業したという事実が、卒業生の皆様方がお世話になった方々への「感謝」の証にもなるものと考えております。

最後に、この素晴らしい母校である放送大学に、これからも「感謝」の証をともにしめしてしまいたいと思います。どうもありがとうございました。

卒業を祝う会から抜粋



学位授与式でのひとコマ





100歳の誕生日を迎えて

名誉会員 加藤 栄

6月4日、満100才の誕生日を迎えることができました。

誕生の頃の世相など、私は知るべくも無いのですが、1917年と言えば欧州大戦の終末の頃であり、3月15日にはロシアのニコライ2世が退位して「ロシア2月革命」が起こっています。

また、10月9日には大阪の坂田三吉が、東京の関根将棋8段を破った等があり、当時の物価は12月にたばこの値上げがあつて、口付の「敷島」12銭、「朝日」10銭、両切の「バット」6銭、刻み(キセル用)の「あやめ」が46銭、「なでしこ」が26銭と記録にあります。

100才と言っても、何も本人が努力して成し遂げた訳ではない。ひと区切りと考えるべきか？

7月の単位認定試験が気になっている処である。

3月卒業式の会場で來生新学長と次には新学長名の学位記をもらう約束をしてしまった。これからは、この約束を果たすという義務(?)を負ってしまった。これを実践するのがこれからの大学への債務償還計画の第一歩になったと思えば、それまで呼吸を続けることが先決であり、試験の結果は次の次であると思うことにした。肩の力を抜いて、学友諸君と厚誼を重ねたいと願っている。

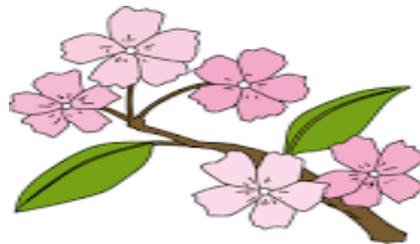


2015年3月 1回目の学位記授与式(本部)にて

2016年3月27日白寿のお祝いに同窓会から花束贈呈(修了・卒業を祝う会にて)



2015年8月29日 加藤家に下宿していた元北大総長丹保先生と久しぶりの再会



平成28年度後期 学位授与式





〈修了・卒業を祝う会の様子〉



うたの会から卒業祝いの歌のプレゼント



所長祝辞の様子



所長退任記念花束贈呈の様子



<卒業に当たってのひとこと>

浦河町 濱道 孝行



皆さん、ご卒業おめでとうございます。

放送大学で学んだ4年間は充実した日々でした。特に、スクーリングで一つのことについて話し合ったこと、いろいろな職業の人たちとお話してきたこと、一つ一つが思い出に、また勉強になりました。本当にありがとうございました。

これから、社会人1年目として放送大学で学んだことを生かしながら頑張っていきたいと思います。

室蘭市 石村 充

2年前、52歳で放送大学3年次へ編入しました。スクーリングに行くとき他の学生の方々への授業の姿勢に毎回感銘と刺激を受けました。特にご年配の方々が非常に意欲的に学ばれていて私も負けていけないと思いました。

学生時代に比べると時間に制約がある中での勉強のため、より集中して取り組む必要があります。このような環境で自分なりの学習法が見つげられたこと、高い集中力を身につけられたことは、大きな収穫であり、今後の人生に行かせることだと思います。3月で卒業しますが、4月から再入学し目標をもって学習を継続していきたいです。





中川郡本別町 新津 佳奈子

正直4年間で卒業しなかったです。最初にたてた計画に無理はなかった。介護の必要な大正13年生まれの母親は入学当時はまだ老健施設におり、入学の1年後には在宅にきりかえて生活に変化があったとしても、フルタイムで仕事をしていたとしても、母の貯蓄と町の社会福祉協議会の人達（訪問看護師、ヘルパー、ケアマネジャー、特養のスタッフ）や、近隣、幼馴染みなど、介護にかかわっている人達のおかげと、もともと母親の心臓のおかげで、ほとんど仕事や介護が勉強の障害にはならなかった。

むしろ邪魔をされたとしたら、自分の精神管理の甘さと天候と頭の悪さでした。学べば学ぶほど自分の無能さを思いしらされてはすかしかぎり、卒業はおわりではなく始まりにすぎないのだと思いしらされました。再び入学して人生をつづけます。人生は自分との戦いなのです、がんばります、筑和先生ありがとうございました。



第14回放送大学研究発表会開催

4月1日(土)に同会実行委員会の主催で、北海道学習センター6F大講義室において開催され、96名の方に参加して頂きました。

記念講演

演題：「暮らしの中のバイオテクノロジー：植物バイオテクノロジーについて」

講師：富田 房男 氏 北海道大学名誉教授・前放送大学北海道学習センター長



今回の講演では、2013年の第9回放送大学研究発表会での記念講演「役に立つバイオサイエンス」のテーマをさらに深めて、植物バイオテクノロジーとりわけ遺伝子組織組換技術が、いかに世界の食糧供給に寄与したかについてお話しをいただきました。

富田先生の講演ではいつも、その時代の最先端のバイオサイエンスの研究成果をご紹介いただいています。また一方で先生のバイオサイエンスの研究にたいする評価に厳しさも感じます。それが経済合理性に合致するかどうかとの視点、言い換えればバイオ研究は人間の生活に寄与できるような成果を生み出すことに存在価値があるとの考えをお持ちであるように思われます。

テキストの冒頭にある「この20年間に世界の農業者が遺伝子組み換え作物から得た利益は、控えめに見積もっても累積1,500億ドル(15兆円)以上と推定されている」との説明は、先生が視点の先に何を見ているかを明確に表していると思います。

今回の講演ではバイオとは何かとの問いかけから出発して、それがいかなる技術的展開を経て現在の水準に達したかについてわかりやすく概説されました。さらにバイオ作物がいかなる方法で安全性を担保しているかについて、米国科学・工学・医学アカデミーの「遺伝子組換え作物：経験と展望」を用いて説明されました。



発表1 テーマ 不登校生徒の復帰に向けた手立てと不登校の未然防止
～中学校における保健室からの支援～
放送大学教養学部 心理と教育コース 室谷 和恵 氏

養護教諭40年の経験と統計及び有力な学説を使った骨太の研究感じました。冒頭で平成26年度の不登校児童生徒のいくつかのデータを使って問題点を浮き彫りにし、次いで地域社会と特別支援コーディネーターの支援の現況に言及し、そして保健室の役割と養護教員の職務を概略します。

次の段階で養護教員の歴史について述べて教育界での立ち位置の変遷を紹介します。以上の点を整理して不登校児童生徒にとっての保健室の持つ意味と養護教員のかかわり方の重要性をこれも統計と研究例の引用によって明示しました。

このなかで中学校における不登校生徒の特徴として「小学校から中学校に入学した一年生が学習や生活の変化になじめずに不登校やいじめが増加する現象」としての「中一ギャップ」に焦点をあてています。また、心理学者アルバート・バンデューラの提唱する「自己肯定感」の必要性を取り上げています。最後に成功と失敗の事例を紹介し発表を締め括りました。



発表2 テーマ 「日本の絵の余白が西洋美術に与えた影響についての一考察」
～ジャポニズムの時代を前提にして～

平成26年度 放送大学教養学部人間と文化コース卒業 齋藤 和男 氏

日本の絵画における余白の意味と働きに着目して、それがジャポニズムの影響を受けた19世紀ヨーロッパの画家達の作品に何らの影響を与えたとの直観が、このユニークな研究を始めるきっかけになったのではないかと思います。まず日本の絵画の余白を、単なる空白ではなく「余情や余韻を持つもの」と仮定義します。

続いて文字・俳句・茶道・能楽・建築の各ジャンルが余白といかに対峙しているかを考察して、「余情や余韻」に加えて「見る人の自由な想像を促す暗示の空間」とであると再定義しています。

そして余白の再定義に基づいて、ジャポニズムを受容した画家達の作品のどの部分に余白の影響があるのかとの検討に進んでいきます。我々には馴染みの深いドガの幾多の作品・ホイッスラーの独特の構図を持つ絵画・モネの太鼓橋と睡蓮のシリーズの解説には、その詳細な探索の様子が見て取れます。またこれらの作品と歌川広重の浮世絵を対照させている部分には、ワクワクとした気持ちにさせられます。

印象派の画家達の絵は見慣れたものにも関わらず、余白の概念を念頭に置くと又違った表情を持っているような不思議な感覚をもちました。パワーポイントの長所をいっぱいにかき、華麗な表象が次々に映し出される楽しさあふれる発表でもありました。



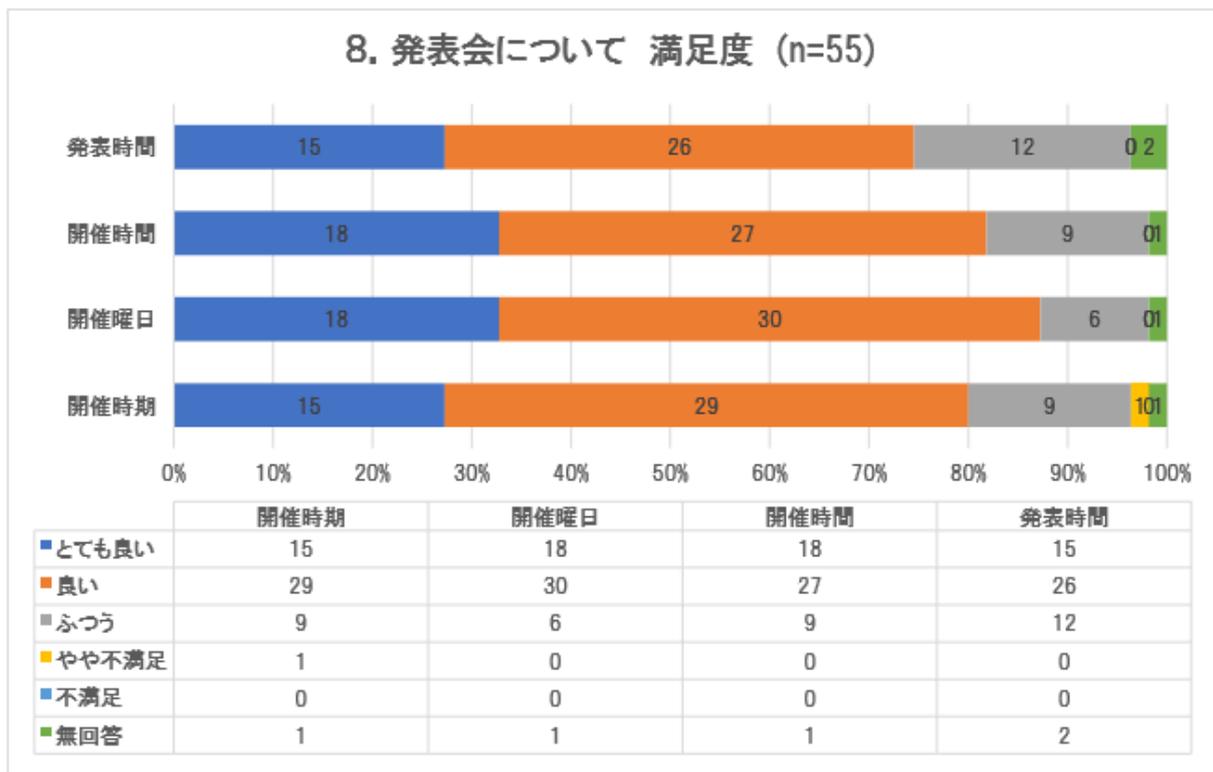
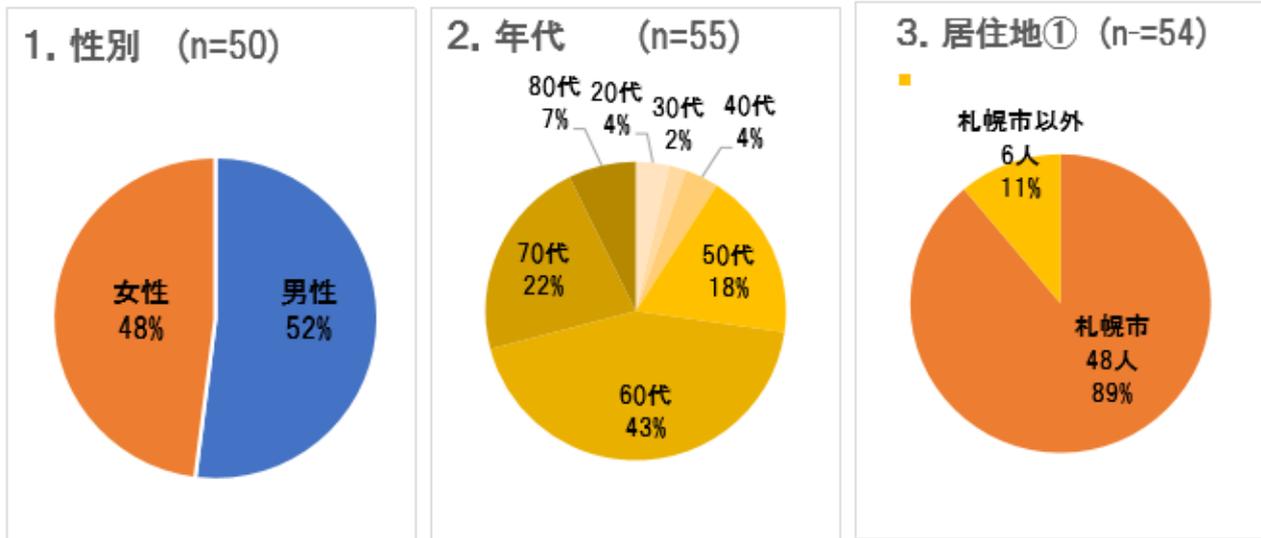
第 14 回放送大学研究発表会アンケート集計

平成 29(2017)年 4 月 1 日実施

放送大学研究会実行委員会

集計担当：大内

アンケート回答者数 55 名



次 回 の お 知 ら せ



第 1 回 放送大学研究発表会

記念講演：「江戸時代の朝鮮通信使の歴史的意義」

講師：奥谷浩一氏 札幌学院大学名誉教授・前札幌学院大学学長



講演の概要

日本で鎖国の時代とされる江戸時代には、徳川幕府と朝鮮国との間に正式の国交関係があり、朝鮮国王の国書を携えた朝鮮通信使が12回も我が国に来日していました。だから江戸時代は決して鎖国ではなかったのです。昨年1月、日本と韓国の関係者がこの「朝鮮通信使」を「世界記憶遺産」へと登録することを目指して申請を行いました。今年夏頃に登録される可能性が高いと考えられています。これを後押しして、「日韓友情ウォーク」、つまり日韓共同でソウルから東京まで「朝鮮通信使」が歩いた路をたどるといふ行事が開催されています。今年の「日韓

友情ウォーク」に参加した体験をもとに、「朝鮮通信使」が我が国に与えた影響とその歴史的意義について考えます。

放送大学 研究発表

- 発表1 テーマ 「エゾシカ嚙下調整食の開発と特別養護老人ホームにおける提供の試み」
放送大学大学院 生活健康科学プログラム修了 佐々木 可奈恵 氏
- 発表2 テーマ 「在宅で生活している高齢者、障がい者への物理療法実施の実態報告」
放送大学大学院 生活健康科学プログラム修了 高 國 憲 二 氏

日 時：平成 29(2017)年 **9月9日(土)** 受付 12:30 開始 13:00-17:00

会 場：放送大学北海道学習センター6F 大講義室
札幌市北区北 17 条西 8 丁目北大構内(地下鉄北 18 条駅から徒歩 10 分)

主 催：第 15 回放送大学研究発表会実行委員会

共 催：放送大学北海道学習センター

後 援：北海道教育委員会・札幌市教育委員会 連携：道民カレッジ連携講座

参加費：無料、誰でも参加出来ます。(道民カレッジ生は手帳を持参下さい。4単位)

問合せ先：第 15 回放送大学研究発表会実行委員会 FAX:011-642-2389 電話 090-2058-4453

平成 29(2017) 年度定期総会開催

定期総会を5月20日(土)午後2時00分から開催しました。

会長挨拶の後、新田所長から挨拶があり、冨田名誉顧問と加藤栄名誉会員からの祝辞がありました。その後、岩崎幹事が会員の近況を数名報告しました。続いて司会者が、会員217名・出席者15名・欠席委任状93名と報告したのち、議長選出を議場に諮ったところ、司会者一任との議場の声から、司会者は沖野茂夫副会長を指名し議事に入りました。

第1号～第3号議案(平成28年度事業報告・会計収支決算報告・会計監査報告)、第4号～第5号議案(平成29年度事業計画案・会計収支予算案)、第6号議案(任期満了による役員改選の件)について、いずれも承認可決されました。

第1号議案

平成28(2016)年度事業報告

平成28(2016)年4月1日～平成29(2017)年3月31日

平成28(2016)年

4月	9日(土)	「第12回放送大学研究発表会」開催
	21日(木)	卒業文集「ひとこと集」製本・発行
5月	7日(土)	・役員会(定期総会、親睦会検討)
	8日(日)	石狩市浜益川下海岸清掃活動参加(ビーチコーミング参加)
	28・29日(土・日)	同窓会連合会定期総会へ出席(会長)
6月	4日(土)	定期総会、親睦会開催
	18日(土)	・役員会(第1回役割分担・名簿・アンケートについて・その他) ・正副会長選考委員会(H29～)
	26日(日)	洞爺湖町虻田海岸清掃活動
7月	1日(金)	・会報28号発行
8月	6日(土)	・役員会(ブロック交流会について・その他)
	27・28日(土・日)	海浜美化エコツーリズム参加
9月	3日(土)	・「第13回放送大学研究発表会」開催
	11日(日)	インターナショナルゴミ拾いビーチウォーク参加
	25日(日)	平成28(2016)年度第1学期卒業を祝う会開催
10月	1日(土)	・新入学生歓迎茶話会(学生支援の為協力)
	4日～9日	「第8回文化祭」開催
	15.16日(土日)	同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会(懇談会・懇親会) 同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会(情報交換会) 開催地 秋田

	20日 (木)	・卒業文集「ひとこと集」製本・発行
	27日 (木)	・会報29号編集会議
11月	24日 (木)	第29号 会報発行
平成29(2017)年		
3月	11日 (土)	筑和センター所長退職記念講演会開催
	26日 (日)	平成28(2016)年度第2学期卒業を祝う会開催

第2号議案

平成28(2016)年度会計収支決算書

自平成28(2016)年4月1日至平成29(2017)年3月31日

○収入の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
前期繰越金	797,054	797,054	
繰越前受会費	234,000	234,000	平成29(2017)年度以降分
入会金	15,000	12,000	前受入会金7,000
年会費	200,000	178,000	前受会費112,000
助成金	100,000	80,000	連合会
その他の収入	46	6,283	受取利息、委託販売益
寄付金		10,000	中根様他
当期前受会費		161,000	
合 計	1,346,100	1,478,337	

○支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
通信費	20,000	17,302	総会案内送料ほか
事務費	20,000	13,335	用紙代ほか
事業費	210,000	144,190	下記内訳のとおり
(研究発表会助成)	50,000	40,738	実行委員会経費
(文化祭助成)	10,000	0	
(会報・広報)	60,000	42,030	会報・広報制作費、送料ほか
(卒業を祝う会)	60,000	49,346	祝う会交通費等
(ホームページ)	10,000	5,336	ホームページ運営費用
(その他)	20,000	6,740	加藤様白寿祝
旅費交通費	95,000	55,000	下記内訳のとおり

(交通費)	35,000	35,000	役員等交通費補助
(旅費)	60,000	20,000	同窓会連合会会議旅費補助ほか
繰越前受会費	234,000	395,000	平成 28(2016)年度以降分
予備費	767,100	0	
次期繰越金		853,510	
合 計	1,346,100	1,478,337	

第 3 号議案 会計監査

放送大学北海道同窓会平成 28(2016)年度収支決算について、会計監査の結果、適正に処理されていることを確認しました。

平成 29 年 4 月 15 日

監査 長谷部 清

監査 竹 井 俊介

第 4 号議案

平成 29(2017)年度事業計画

平成 29(2017)年 4 月 1 日～平成 30(2018)年 3 月 31 日

平成 29(2017)年

- 4 月 1 日 (土) ・「第 14 回放送大学研究発表会」開催
- 27 日 (木) ・卒業文集「ひとこと集」製本・発行
- 5 月 6 日 (土) 役員会(定期総会、親睦会検討)
- 20 日 (土) 定期総会、親睦会開催
- 21 日 (日) 石狩市浜益川下海岸清掃活動参加(ビーチコーミング参加)
- 27・28 日 (土・日) 同窓会連合会定期総会へ出席 (会長・前会長)
- 6 月 24 日 (土) ・役員会 (第 1 回役割分担について・その他)
- ・「第 15 回放送大学研究発表会」実行委員会
- 25 日 (日) 洞爺湖町虻田海岸清掃活動
- 30 日 (金) ・会報 30 号発行
- 8 月 27・28 日 (土・日) 海浜美化エコツーリズム参加
- 9 月 2・3 日(土・日) 同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会(懇談会・懇親会)
- 同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会(情報交換会)
- 開催地 山形
- 9 日 (土) 「第 15 回放送大学研究発表会」開催
- 12 日～17 日 「第 9 回文化祭」開催 (同窓会活動の様子を展示)

- 24日(日) ・平成29(2017)年度第1学期卒業を祝う会開催
 ・インターナショナルゴミ拾いビーチウォーク参加
- 10月 7日(土) 新入学生歓迎茶話会(学生支援の為協力)
- 26日(木) ・卒業文集「ひとこと集」製本・発行
 ・役員会(会報31号編集について・その他)
- 11月 25日(土) 第31号 会報発行
- 平成30(2018)年
- 2月 22日(木) ・役員会(卒業・修了を祝う会の準備について)
- 3月 25日(日) 平成29(2017)年度第2学期卒業を祝う会開催
- * 研究発表会実行委員会・文化祭実行委員会は暫時開催する

第5号議案

平成29(2017)年度会計収支予算

平成29(2017)年4月1日～平成30(2018)年3月31日

○収入の部

単位：円

科目	予算額	備考
前期繰越金	853,510	
繰越前受会費	269,000	平成30(2018)年度以降分
入会金	18,000	前受入会金13,000
年会費	180,000	前受会費113,000
助成金	80,000	連合会助成
その他の収入	10	受取利息
合計	1,400,520	

○支出の部

科目	予算額	備考
通信費	20,000	総会案内送料ほか
事務費	45,000	用紙代、封筒印刷ほか
事業費	230,000	下記内訳のとおり
(研究発表会助成)	50,000	実行委員会
(文化祭助成)	10,000	実行委員会
(会報・広報費)	60,000	会報・広報制作費、送料ほか

(卒業を祝う会費)	80,000	祝う会交通費等
(ホームページ費)	10,000	ホームページ運営費用
(その他)	20,000	その他の事業費
旅費交通費	75,000	下記内訳のとおり
(交通費)	15,000	役員等交通費補助
(旅費)	60,000	同窓会連合会会議・ブロック交流会旅費補助
次期繰越前受会費	269,000	平成 29(2017)年度以降分
予備費	761,520	
合 計	1,400,520	

第 6 号議案 任期満了に伴う役員選任の件

正副会長候補選考委員会委員長鈴木一雄さんから、会長候補に沖野茂夫氏、副会長候補に宮崎新吾氏、中根恵美子氏が選考された旨報告を受けました、他役員候補 10 名と共に可決決定しました。

次に選任を承認された沖野会長より挨拶があり、議事の審議をすべて終了し散会しました。

「放送大学同窓会連合会
平成 29 年度（第 20 回）通常総会」に出席して

放送大学北海道同窓会
前会長・副会長 宮崎 新 吾

5 月 27 日・28 日の両日、千葉県放送大学本部において行われた、「放送大学同窓会連合会 平成 29 年度（第 20 回）通常総会」についてご報告させていただきたいと思っております。

この放送大学同窓会連合会は、全国にある放送大学の同窓会の連合会組織で、年一回総会を開催して、先進的な取り組みをしている同窓会の活動を紹介したり、また、運営方法などについて意見交換をしたりする場となっており、同窓会活動を行う上で貴重な情報収集源となっております。

5 月 27 日は、13:00 から第 1 部として「第 20 回通常総会」が行われました。

津野連合会会長による「開会の辞」に続いて、「学歌」を参加者全員で声高らかに合唱しました。その後、議長・書記が選出され、議事は、①平成 28 年度活動報告、②同決算報告及び監査報告、③平成 29 年度活動方針及び活動計画（案）、④同予算（案）、⑤役員選任（案）がそれぞれ示され、承認されました。⑤の新役員は、会計として、足立昭子氏（東

京同窓会) が選任され、挨拶をしました。

15:00 からは、第2部として「検討会」が行われました。今年度から学長に就任されました來生先生から、『放送大学の新時代』と題して、ご講演がありました。その中で、放送大学の学生の特徴として、ライフスタイルとして「放送大学の学生であるという生き方」であるとおっしゃっておられました。放送大学は他の大学と違い、就職のための一通過地点というのではなく、何度も再入学しながら、まさにライフスタイルとして学生をやっているという点に最大の違いがあり、そして、このような特性を踏まえたうえで、新しい放送大学を作っていくまさに「新時代」であると言っておられました。

その後、「地区交流会の報告と今後の方向」として、6地区交流会幹事からの実施報告とそれに対する討議が行われました。

第2部の締めくくりに、所感として、來生学長、岡田副学長、池田副学長及び宮本副学長から、テレビオンライン授業とラジオオンライン授業のコストについてのお話と、それらとインターネット授業との比較のお話などをしていただきました。

18:00 からは、第3部として、「懇親会」が場所を移して、Ys デイナーバイキングレストランで開催され、北海道同窓会として、懇親会に出席してくださった來生学長、岡田副学長、池田副学長に挨拶を行い、また、席順は特に定められていませんでしたが、東北・北海道ブロックで集まって、沖野新会長の元、東北・北海道の団結を強めることができたと思っております。

翌5月29日は、9:00 から「全国同窓会情報交換会」が行われました。主な情報交換会のトピックスとして、「同窓会活動と今後の発展、SC、学友会とのかかわりの中で」、「全同窓会トピックス紹介-事前提出の報告シート中心に-」などがあがりました。この中で、北海道同窓会からは、「全同窓会トピックス紹介」の中で、研究発表会を年2回実施していることなどを中心に、定期総会での予定議題などについて発表しました。また、今回も発表時間を各同窓会の発表を一人2分間として、これまでは時間切れで発表できないことがあった沖縄地方から発表をはじめ、ほぼ時間通りに、全国各地の同窓会からの発表が行われました。その中で、様々な取り組みや悩みなどを聞くことができ、多くのことを学ばせてもらいました。

同窓会は、学生と母校の支援をするものだとの考えのもと、私たちは普段の活動を行っておりますが、その同窓会を支援してくれているのが同窓会連合会であり、また、その同窓会連合会を支援しているのが大学本部であり、学長・副学長をはじめとした学生支援室の方々であります。このような皆さんに支えられながら、北海道同窓会も母校である北海道学習センターと卒業生・在校生のお力添えをいただき、一段と活発に活動できるものであると考えております。

今後も、同窓会会員のみなさまとともに、北海道学習センターの在校生及び学生サークルの活動の後ろ盾となりながら、母校の支援に取り組んでまいります。会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

第3回 紙 上 同 窓 会

週一回ボーリングに行っています。15人ぐらいでにぎやかにスコアをきそっていますが、まだまだ初心者の私です。

江別市 久保田 会員

いつもご連絡を頂き、どうもありがとうございます。感謝致しております。

札幌市 早坂 会員

親睦会の御盛会、ご祈念申し上げます。

恵庭市 宗前 会員

最近、年の故か各種会合に欠席致しております。今回も欠席致します。加齢の為ボケが進行して致しておりますので。よろしくお願い申し上げます。

札幌市 新井 会員

今冬の除雪苦で、膝関節他を痛めすっかり外出が減りました。放大の知らせを読み、卒業から8年過ぎ遠くなりましたが、皆様のご活躍や励みに刺激を受けています。

札幌市 山口 会員

今年は娘といっしょに高校受験の勉強をしています。娘が落ちついたら自分の目標を作って、向かっていきたいです。

北斗市 高橋 会員

欠席となり残念に存じます。筑和所長様大変お世話になりまことに有りがとうございました。厚くお礼を申し上げます。

札幌市 本間 会員

役員の方、いつもありがとうございます。出席したいのですが、仕事が忙しくなかなか行けません。また勉強したいなと思っているのですがなかなか……。いつか始めます。

帯広市 富原 会員

平成9年に行政相談員として総務大臣より委嘱を受けて、以来20年になり平成29年3月31日定年により退任しました。雑務に追われ、今回も定期総会に出席できません。申し訳ないと思っております。

中川郡幕別町 澤口 会員

役員の皆様にはいつもお世話になっています。最近は何れもはげしく心身ともに劣ってきました。今は出来るだけ歩く事を心掛けています。

北広島市 松下 会員

現在、選科生で、別の大学通信制に教職編入しました。転職して北海道に戻りたいです。

藤岡市 古矢 会員

消防団団長を拝命し、3年、消防庁長官表彰を受けてまいりました。予防消防、啓蒙活動に尽力し、活動しているところです。若い消防団員のなり手のいないことに苦慮しています。

中川郡幕別町 吉田 会員

いまでも、学生生活を楽しんでいます。

札幌市 遠藤 会員

3人の親の介護中です。

札幌市 小田 会員

年齢70歳ですが、現役で学校法人に携わっております。

札幌市 福島 会員

同窓会運営に日々ご尽力くださりましてありがとうございます。私は、自身の健康維持に精一杯…。それでも卒業生であるプライドと得た知識で心豊かに暮らしています。

函館市 加藤 会員

色々なことに挑戦していきたいと思っています。がんばっていきます。

浦河郡浦河町 濱道 会員

副看護師長と管理職となり、ますます忙しい毎日をごんぱっております。

爾志郡乙部町 土谷 会員

体力が伴わなくなって、いつまで、仲間に加わることができるやら、頑張りますが…

札幌市 長谷部 会員

役員の皆様、同窓会活動の運営お疲れ様です。

札幌市 木下 会員

三才年上の姉が介護度4になった為に、その後見と管理で小樽に居ることが多く大生活も遠くになりました。「継続は力なり」と思い返して新学期は実際に役立つ科目をえらんで登録しました。細く長く勉強したいと思います。

札幌市 金加 会員

最近は身体の衰えを感じずる様になりましたが、ガンバっています。

札幌市南区 加藤 栄 会員

「隣の放送大学」

数年前、単位認定試験の会場「とまちプラザ」で、突然話しかけられた。中学校の教師で我が家の隣に引っ越して来た方であった。特別支援の免許取得のため放送大学で単位を取りに来ていた。昨年町内会の役員会で「放送大学と連携」している帯広コア専門学校の教員を退職したAさんとお会いした。懇親会で放送大学の話題で盛り上がった。

今年3月NHK ホールの学位授与式で同窓会役員の方からパンフレットを渡された。4月の「放送大学研究発表会」の案内だった。素敵なパンフレットの存在を初めて知った。遠方のため参加は困難ですが、事後でも「パンフレット」を同窓会文書に同封して頂くとありがたいのですが。

音更町 坂本 会員

4月に孫が生まれて忙しく1日があつと言う間に過ぎております。

札幌市 久保 会員

同窓会の皆様お元気の事とお喜び申し上げます。私、遠路にて欠席致します。今年2月26日、学習センター談話会で「私は、なぜ教育研究者になったのか」と言う守屋淳教育学研究院教授によるお話しに、私は思わず熱くなりました。それから、3月11日筑和所長の退職記念講演会にもはるばる利尻から出掛けて行き「どこから来て、どこへ行くのか～謎の美女メリュージヌの物語～」にふれることができ感動でした。

(後で、感想を書いたので詰まってしまいました。失礼～)

利尻町 谷永 会員

同窓会報編集委員から

紙上同窓会は平成29年度定期総会会員連絡欄を抜粋して掲載しました。ご連絡をくださった会員の皆様本当にありがとうございました。

名誉会員加藤栄さんの発案で始めた紙上同窓会も3回目を迎えました。会員の皆様のご感想はいかがでしたか？ 紙上同窓会ですから学びのお悩み等お困りの会員にアドバイスもお願いします。また、生活の知恵やワンポイントアドバイスなど放送大学で知り得た知識や経験からもお手紙などをお寄せくださいね。私の健康法など。皆様からのお便りが無ければ続けていけませんので、どしどし近況などをお知らせください。また、返信はがきは定期総会をご案内する時に同封しますが、メール、FAXや郵便などいつでも受け付けています。また、次号では「感銘を受けた一冊」コーナーも掲載したいと思っております。皆様のご協力をお願いします。その他、ご意見なども受け付けております。宜しく申し上げます。



第9回文化祭のお知らせ

日時 9月12日(火)から17日(日)

場所 放送大学北海道学習センター5階6階

展示 12日(火)展示物搬入～17日(日)展示物搬出迄6階廊下

16日講演:「高度技術社会における生命のこれから」

講師: 新田孝彦学習センター所長

講演会終了後

学生サークル発表 演芸: 落語・手品・朗読・音楽など(予定)

*展示物、発表、演芸出演者、バザー品を募集しています。

同窓生の皆さん!お誘いあわせの上、参加して下さいね

第9回文化祭実行委員会 実行委員長 沼畑亘宏

文化祭に同窓会の沿革などを展示します

同窓会の沿革

平成16(2004)年度

6月 北海道同窓会設立総会

10月 北海道同窓会臨時総会
(役員改選・会則制定)

平成16年度第1学期学位記授与式

12月会報「放送大学北海道同窓会会報」創刊号
映画の集い「ローマの休日」

1月 新春のつどい
北海道同窓会函館支部結成

3月 会報「放送大学北海道同窓会会報」第2号
第2回映画の集い「ひまわり」

平成16年度第2学期卒業・修了を祝う会

卒業生感想文集「ひとこと集」創刊号
北海道同窓会旭川支部設立



現在に至る

学生サークル紹介

うたの会

代表 中根 恵美子



うたの会は、ローレライ、花、紅葉など愛唱歌を楽しむ学生サークルです。

放送大学学歌や北海道放大生賛歌、蛍の光・歓喜の歌なども歌い、英語・ドイツ語など原語でも歌います。プロの先生がピアノ伴奏で教えてくれます。うたの会の目的：豊かな人生の糧として、歌を通して広い文化活動を楽しみます。

H29.3.27 同窓会主催祝う会出演の様子

皆さん健康のために声を出しましょう！！

放送大学の学びには健康が第一です。

一緒に大きな声で歌いましょう！！

入会を、お待ちしております。



パソコン学び隊隊員 募集中！

パソコンは持っているけれども、今ひとつ利用できていない・・・

そんな悩みを解決しませんか？

たとえば・・・年次の挨拶状を作りたい。簡単な家計簿を作りたい

- ・ システムわかばにアクセスしたいなどなど

放送大学在学学生なら誰でも隊員になれます

連絡先 メール: miyasabon@yahoo.co.jp

電話番号: 080-5585-3416 島田

同窓会の社会貢献コーナー

5月21日石狩市浜益区川下海岸へ NPO 法人北海道海浜美化を進める会主催、協力大学3校札幌の小学生75名も含め参加人数224名のうち、放送大学生参加5名で海岸清掃をしました。3台のバスはまず最初に浜益漁港祭り会場へ到着。参加者は魚介類を購入してその場で焼いて食べ、



街では味わえない海の幸に舌鼓を打った後、川下海岸へ移動。開会式の後、ビーチコーミングの班とそのほか二手に分かれて海岸にエントリーしました。今年は白石区の三つの小学校の児童45名とボーイスカウトの児童30名に混ざり、

学生45名など若い力と地域の方々の協力で1時間30分あまりの清掃活動をしました。昨年ほどの漂着ゴミではありませんでしたが、時間内に拾いきれず、集合の合図があっても戻ってこない大学生、小学生が多く、もう一度来て拾いたいと名残惜しそうでした。活動の後は町内会の婦人部が作った豚汁におにぎりやお弁当で昼食。その後、浜益温泉で汗を流し活動の感想文などを書きながら帰路につきました。道中の緑が濃くなり花々が咲き競っていました。



6月4日石狩市三線浜ゴミ拾いビーチウォークに参加しました。あいにくの雨にもかかわらず、630名が参加しました。この海岸は札幌からの利用者がほとんどで、バギー車が走り回って危険なので駐在所のミニパト2台も応援に来てくれました。海岸は広く、清掃活動エリアはその半分ほどです。清掃後の海岸の様子は使用前と使用後のように清掃していないエリアの海岸とはっきり区別でき、清掃活動の必要性和札幌市民としての責任を感じた一日でした。担当 中根恵美子

会費納入と新入会員募集のお願い

平成 29(2017)年度の継続会員の方は、今年度の年会費 1,000 円を下記口座へお振込み下さる様ご協力をお願いいたします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金 1,000 円、年会費（初年度）1,000 円を下記口座へご送金ください。（次年度以降は年会費のみとなります。）

郵便口座名 放送大学北海道同窓会
口座番号 02740-0-37725

放送大学を宣伝してください！

皆さんの『ロコミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター

TEL 011-736-6318

新入会員のご紹介！！（敬称略・順不同）

平成 28 年度後期卒業生

(情) 田中 遼 (生) 西川原 義徳
(心) 水谷 麻耶 (院) 佐々木 可奈恵
(心) 松本 直美 (生) 新津 佳奈子
(社・産) 久保田 正子 (社・産) 北川 幸也
(生) 早川 由季乃 (人) 鈴木 茂
(社・産) 岡部 尚人 (心) 濱道 孝行
(心) 小本 きよみ

〒・住所・電話番号などの変更のときは、必ず、ご連絡をお願いいたします。

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目
放送大学北海道学習センター内
放送大学北海道同窓会
学習センター事務室内ポストに直接投函
可

FAX 番号 011-642-2389 中根

E-mail tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp

URL : <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

編集後記

同窓会の会報も今回の発行で 30 回目になりました。いまそれぞれの会報を読み返してみると、編集者の苦勞が感じられると同時に、編集の技術が少しずつ向上していくのが見て取れます。

今回は放送大学北海道学習センターの新田孝彦新所長に、会報への寄稿をいただきました。そのなかで通信制大学の制約を見据えながらも、新所長の放送大学生への熱い励ましのメッセージが感じ取れます。また同窓会への応援もいただきました。

会報の発行後の主な活動は、9月9日（土）の第15回放送大学研究発表会ですが、すでに実行委員会を立ち上げ、その準備作業に入っています。次号ではその研究発表会の様子を詳しくお届けできると思います。